

2022年 選考会競技方法及び競技規定

1 競技方法（基準）

- (1) 組手競技 クラス毎のリーグ戦方式
(参加人数により競技方法の変更もあり得る)
- (2) 形競技 全空連第1、第2指定形、自由形の演武
(参加人数により競技方法の変更もあり得る)

2 競技規定

- (1) 全空連競技規定及び全空連審判規定に従い実施する
- (2) 形競技
全空連第1、第2指定形、自由形（得意形リストに記載されている形に限る）の3つを行う（参加者数によっては変更もあり得る）
- (3) 組手競技
組手の勝敗は、8ポイント差が生じた場合、又は時間終了の際に得点の多い競技者、又は判定により、又は相手に反則、失格、棄権が課せられることにより決められる（参加人数により変更もあり得る）
- (4) 試合時間
 - ①成年男子 3分間フルタイム
 - ②成年女子、少年男女 2分間フルタイム
- (5) 安全具
 - <男子組手競技に使用する安全具>
 - ①拳サポーター（WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの）
 - ②メンホー（ミズノNo.6・7）
 - ③マウスシールド
 - ④セーフティカップ
 - ⑤ボディプロテクター（WKF又は全空連検定のもの）
 - ⑥インステップガード・シンガード(WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの)
 - <女子組手競技に使用する安全具>
 - ①拳サポーター（WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの）
 - ②メンホー（ミズノNo.6・7）
 - ③マウスシールド
 - ④ボディプロテクター（WKF又は全空連検定のもの）
 - ⑤インステップガード・シンガード(WKF又は全空連検定の赤色・青色のもの）
 - ⑥チェストガード（本予選会は不要）
- (6) その他
 - ①マウスシールド等の安全具は、貸し借りすることのないよう全て各自で準備してください。
 - ②ニューメンホー、拳サポーター、ボディプロテクターは、全空連検定品もしくは高体連指定のものを使用してください。
 - ③マウスピースの着用は任意とします。ただし、マウスピースは白または透明に限定します。